

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

阿見町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

茨城県稲敷郡阿見町

3 地域再生計画の区域

茨城県稲敷郡阿見町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口の推移をみると、1980年の33,720人から2005年には47,994人と増加傾向にあったが、2006年から2015年にかけては、横ばいの状態が続いていた。しかし、2020年から再び増加傾向となり、2023年には総人口が49,979人に達している。国立社会保障・人口問題研究所によると、2070年には総人口が35,900人となる見込みである。

年齢3区分別人口割合の推移をみると、年少人口（0～14歳）は1985年の8,769人をピークに減少し、2020年には5,983人となる一方、老年人口（65歳以上）は1980年の2,828人から2023年には13,890人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も2000年の33,067人をピークに減少傾向にあり、2023年には29,879人となっている。

自然動態をみると、出生数は2001年の471人をピークに減少し、2023年には345人となっている。その一方で、死亡数は2023年には585人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲240人（自然減）となっている。

社会動態をみると、1995年から2012年にかけては、社会増減を交互に繰り返していたが、2013年から転入者が転出者を上回り、2023年には転入者2,627人、転出者2,005人で622人の社会増となっている。

一方で、将来的に人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、結婚、妊娠、出産、子育てに対する支援や魅力的な教育環境等を整え自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、社会増を目指す。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 あみらしい多様な働き方ができるまち
- ・基本目標 2 魅力を発信し、新たな人の流れをつくるまち
- ・基本目標 3 まちぐるみで妊婦・子育て家庭を支え、若者や女性が活躍できるまち
- ・基本目標 4 町内どこでも暮らしやすく、住み続けられるまち

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2027年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	実質町内総生産（年間）	277,835百万 円	284,394百万 円	基本目標 1
イ	社会増数	+568人	+339人	基本目標 2
	観光入込客数	3,026千人	3,463千人	
ウ	子育て世代の人口（25-39歳）	8,339人	8,595人	基本目標 3
	子育て支援の満足度	平均3.19点	平均3.44点	
エ	住みやすいと感じている町民の割合	85.6%	89.9%	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

阿見町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア あみらしい多様な働き方ができる事業

イ 魅力を発信し、新たな人の流れをつくる事業

ウ まちぐるみで妊婦・子育て家庭を支え、若者や女性が活躍できる事業

エ 町内どこでも暮らしやすく、住み続けられる事業

② 事業の内容

ア あみらしい多様な働き方ができる事業

町民がライフスタイルに合った働き方を選択できるよう、地域産業を活かした雇用の場や挑戦できる環境を整え、あみらしい多様な働き方ができる事業

【具体的な事業】

- ・あみで暮らしながら働ける、誰もがチャレンジできる場の提供
- ・雇用機会創出のための情報提供の充実
- ・まちの未来を育て、職住近接のまちを実現する産業の創出 等

イ 魅力を発信し、新たな人の流れをつくる事業

若い世代をターゲットに、5万人都市「あみ」のブランド化を図り、誇りや愛着が持てるまちの魅力を発信し、新たな人の流れをつくる事業

【具体的な事業】

- ・あみシティブランドの創出と発信
- ・デジタルを活用した交流・関係人口の拡大
- ・若い世代を中心とした定住促進 等

ウ まちぐるみで妊婦・子育て家庭を支え、若者や女性が活躍できる事業

居住年数や仕事の有無等に関わらず、安心して出産・子育てできるよう、まちぐるみで妊婦・子育て家庭を支え、若者や女性が活躍できる事

業

【具体的な事業】

- ・安心して、健康的に出産・子育てができる環境の充実
- ・子育てと仕事の両立を支援
- ・子どもの可能性を開く教育環境づくり 等

エ 町内どこでも暮らしやすく、住み続けられる事業

地域交流や健康増進等の快適性、生活環境の利便性などを整え、地元住民や転入者等が、町内どこでも暮らしやすく、住み続けられる事業

【具体的な事業】

- ・暮らしを支える地域交流の促進
- ・町民の健康増進
- ・自然環境と調和のとれた都市環境の形成
- ・市制施行に向けた取組の推進 等

※ なお、詳細は第3期阿見町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

300,000千円（2025年度～2027年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度5月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2025年4月1日から2028年3月31日まで

6 計画期間

2025年4月1日から2028年3月31日まで